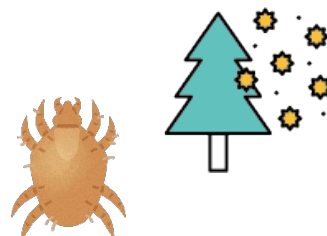


繊維製品上の花粉やダニ由来タンパク質測定方法 (ISO 4333) 受託のご案内

私たちの身の回りには、花粉・ダニのフンや死骸に由来するタンパク質（由来タンパク質）が存在しています。繊維製品の中には、これら由来タンパク質を低減させる機能を付与した製品があります。これまで、その性能について評価する公定法はありませんでしたが、2022年7月に、こうした機能を評価できる方法 ISO 4333 (Textiles — Determination of reduction activity of specific proteins derived from pollen, mite and other sources on textile products) が発行されました。当センターでは、この ISO 4333 に基づく試験を受託しております。

測定可能な由来タンパク質

- ・スギ花粉
- ・ダニ「排泄物由来タンパク」(コナヒョウヒダニ, ヤケヒョウヒダニ)



試験の流れ

試験片に由来タンパク質懸濁液を接種する→25℃で2時間放置
→試験片から由来タンパク質を回収→回収液の由来タンパク質濃度を測定

測定方法 ELISA 法

- ・ELISA とは？ Enzyme-Linked Immuno Sorbent Assay の略。
ELISA 法は抗原・抗体反応により検体に含まれる由来タンパク質を定量する方法です。

低減化率 (Reduction rate) の算出

$$P = (R_n - R_t) / R_n \times 100$$

P: 低減化率 (%)

R_n: 2 時間後にブランク (空試験) から回収されたタンパク質量の平均値

R_t: 2 時間後に試験片から回収されたタンパク質量の平均値

お問い合わせ

大阪事業所 生物ラボ
TEL: 06-6441-6756